

BOP層等を対象とした新たな市場開拓に向けたファイナンス調査について

問題意識

- BOP層等を対象としたビジネスへの参入は、我が国のみならず欧米諸国でも注目され、活発化している。
- 一方で、BOPビジネスでは、従来のビジネスでは想定できない様々なリスクが発生し、特にファイナンス面において円滑な企業行動が困難になる可能性がある。
- そのため、BOPビジネスに対する貿易保険や投融資制度の活用など、我が国において必要な公的ファイナンスのあり方を検討する。

検討事項

【委託調査】

- 本年8月から平成22年度貿易保険制度等調査委託事業として、「BOP層等を対象とした新たな市場開拓に向けたファイナンス調査について」を開始。委託先は野村総合研究所。
- 海外企業等によるBOPビジネスの成功事例におけるファイナンス面の現状・課題を分析するとともに、BOPビジネスに参入又は新たな事業展開を検討している我が国企業・邦銀等の課題やニーズを把握する。
- その一環として、以下の日程で海外調査を実施予定：
 - ・10月29日～11月13日 南アフリカ、ケニア
 - ・11月14日～11月25日 インド、バングラデシュ
 - ・12月 5日～12月13日 ニューヨーク
- 成功事例について、企業側から資金調達背景とニーズを、国際機関等の資金提供者からは資金提供スキームの詳細、今後の改善策等を聴取。
- 訪問先の候補(P)：
 - ・南アフリカ：エリクソン、IFC、CGIC
 - ・ケニア：サファリコム、キックスタート、African Trade Insurance Agency
 - ・インド：SELCO India、USAID、Shell Renewables India、IFC
 - ・バングラデシュ：グラミン・フォン、グラミン銀行、グラミン・ダノンフーズ、シティバンク・バングラデシュ
 - ・アメリカ：コーネル大学、USAID、EXIM、OPIC、アキュメン財団

検討事項(続き)

【省内勉強会】

- 貿易保険課と通商金融・経済協力課が連携して月に1度、「BOPビジネスに対するファイナンス支援に係る勉強会」を開催。
- ①上記委託調査の進捗状況や結果の情報共有、②外部有識者による講演、③省内各課からの情報入手等を目的としている。
- 貿易局及び省内関係課が主要メンバー。オブザーバーとして、外務省、JICA、JETRO、NEXI、JBICも参加。
- これまでの開催実績及び今後の予定
 - ・第1回 8月31日(火)
(議題) BOPビジネスの概要、BOPビジネスにおける成功事例の紹介及び事例における資金調達方法について
 - ・第2回 9月30日(木)
(議題) BOPビジネスにおける公的ファイナンス支援の概要
BOPビジネスに対するニーズ・課題の発掘
 - ・第3回 10月26日(火)(予定)
(議題) 有識者からの講演

※月1回のペースで開催し、計7回程度を予定

今後の対応

- 国内ヒアリング、海外調査、勉強会の結果を踏まえ、来年2月末までに委託調査の報告書を作成。その中で、成功事例や失敗事例の紹介をしつつ、公的金融支援の新たな対応方針を提案。
- 適宜、BOPビジネス支援センターに情報提供を行っていく。
- 新たなBOPビジネスの組成に向けた具体的なファイナンス面での支援の実施を検討する。ベストプラクティスの構築と共有を目指す。